

(3) 使途拘束資産（控除対象財産）の内訳と増減額及び残高

1. 公益目的保有財産（継続して公益目的事業の用に供する公益目的事業財産）

番号	財産の名称	場所	財産の使用状況 (概要、使用面積、使用状況等)	帳簿価額					不可欠 特定財産	公益充実資金の取り崩し又は剰 余額の解消額に充てた額の管 理(※)
		面積、構造、物量等		前期末	当期減少額	当期増加額	評価差額	期末		
1	土地	〇〇㎡××市▽▽ 町3-5-1	〇〇事業の施設に使用している。 基本財産	円	円	円	円	円		取得価格1000万円のうち、2割 に当たる200万円は公益充実 資金の取り崩しによる(令和9年 度の別表みの計算において減価 償却費〇円を控除)
		〇〇㎡								
				円	円	円	円	円		
計				円	円	円	円	円		

(※) 公益目的保有財産のうち、公益充実資金の取り崩し又は中期的収支均衡における解消策として取得したものがある場合には、公益充実資金の取り崩し又は解消額とした額を明らかにする必要があります。

2. 法人活動保有財産（公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産）

番号	財産の名称	場所	事業区分 (収、管)	財産の使用状況 (概要、使用面積、使用状況等)	帳簿価額				
		面積、構造、物量等	事業番号		前期末	当期減少額	当期増加額	評価差額	期末
					円	円	円	円	円
					円	円	円	円	円
計					円	円	円	円	円

3. 公益充実資金

帳簿価額				
前期末	取崩額	積立額	評価差額	期末
円	円	円	円	円

4. 資産取得資金（公益以外の法人活動保有財産の取得又は改良）

番号	資金の名称	収・管	帳簿価額				
			前期末	取崩額	積立額	評価差額	期末
1	●●改修資金		円	円	円	円	円
			円	円	円	円	円
計			円	円	円	円	円

5. 特定費用準備資金（公益以外の特定の活動の実施）

番号	資金の名称	収・管	帳簿価額				
			前期末	取崩額	積立額	評価差額	期末
			円	円	円	円	円
			円	円	円	円	円
計			円	円	円	円	円

6. 指定寄附資金（交付者の定めた使途に充てるために保有している財産）

番号	資金の名称	区分 (※)	交付者の定めた使途	帳簿価額				
				前期末	当期減少額	当期増加額	評価差額	期末
1	〇〇寄附金	公1	〇〇事業のために令和10 年度末までに費消する	円	円	円	円	円
				円	円	円	円	円
計				円	円	円	円	円

(※) 公共通、公1、公2、収1、管 等

控除対象財産の額の合計	前期末	期末
	円	円